

技術点の評価項目表

【事業計画に関する項目】

評価項目			評価の視点	評価方法	個別配点 (40点)		個別配点割合	
大項目	中項目	小項目			個別配点	合計	個別配点割合	合計
事業の全体計画	1	1	・本事業の組織体制及び運転管理体制について優れた提案となっているか。 （「実施体制の役割分担」「有資格者の配置計画」「運営・維持管理業務と設計・建設業務との連携体制」について「事業スキーム図」「構成企業の役割分担表」等を用いて具体的に記載すること。）	定性評価項目	0.4	2.0	5.0%	
		2	・本事業における設計・建設業務、運営・維持管理業務を通じて生じるリスク（運営・維持管理業務に関する項目の地震、津波及び風水害等の災害発生時を除くリスク）の認識と対応策は優れた提案となっているか。 （「本事業で想定されるリスクと対応方法等（災害発生時を除くリスクに対するリスクマネジメント方法（管理体制、管理方法等）、顕在時の対応方法等）」「グループ企業を含めたバックアップ（リモートによる運転支援、薬剤や予備品等の物資や作業員等の支援、機器故障時における代行処理等）体制の考え方」「加入する保険の内容」について「リスク対応表」「管理体制表」等を用いて具体的に記載すること。）	定性評価項目	0.8			
		3	・本事業における設計・建設業務、運営・維持管理業務を通じて生じる地震、津波及び風水害等の災害発生時のリスクの認識と対応策は優れた提案となっているか。 （「本事業で想定される災害発生時のリスクと対応方法等（災害発生時のリスクに対するリスクマネジメント方法（管理体制、管理方法等）、顕在時の対応方法等）」「グループ企業を含めたバックアップ（リモートによる運転支援、薬剤や予備品等の物資や作業員等の支援、機器故障時における代行処理等）体制の考え方」「加入する保険の内容」について「リスク対応表」「管理体制表」等を用いて具体的に記載すること。）	定性評価項目	0.8			
応募者の企業実績	2	4	・プラントの設計・建設業務に関する施工実績として次の要件を満たしている場合に加点する。 【加点要件】 入札説明書の「プラント設計・建設業務を行う者の要件」3)の要件を全て満たす施設の建設工事を代表企業として契約した実績数。 ①4件以上の実績 : 個別配点×1.00 ②3件の実績 : 個別配点×0.75 ③2件の実績 : 個別配点×0.50 ④1件の実績 : 個別配点×0.00	定量評価項目	0.4	1.6	4.0%	
		5	・建築物の設計業務に関する施工実績として次の要件を満たしている場合に加点する。 【加点要件】 入札説明書の「建築物の設計業務を行う者の要件」3)の要件を全て満たす施設に関して建築基準法に規定する確認申請書又は計画通知書を代表となる設計者として申請又は通知した実績数。 ①4件以上の実績 : 個別配点×1.00 ②3件の実績 : 個別配点×0.75 ③2件の実績 : 個別配点×0.50 ④1件の実績 : 個別配点×0.00	定量評価項目	0.2			
		6	・建築物の建設業務に関する施工実績として次の要件を満たしている場合に加点する。 【加点要件】 入札説明書の「建築物の建設業務を行う者の要件」3)の要件を全て満たす施設の建設工事を元請企業又はプラントの建設業務を行う者の一次下請けとして契約した実績数。 ①4件以上の実績 : 個別配点×1.00 ②3件の実績 : 個別配点×0.75 ③2件の実績 : 個別配点×0.50 ④1件の実績 : 個別配点×0.00	定量評価項目	0.2			
		7	・運営業務に関する業務実績として次の要件を満たしている場合に加点する。 【加点要件】 入札説明書の「運営業務を行う者の要件」1)の要件を全て満たす施設の運営業務を契約し、連続して3年以上、当該業務を履行した実績数。 ①4件以上の実績 : 個別配点×1.00 ②3件の実績 : 個別配点×0.75 ③2件の実績 : 個別配点×0.50 ④1件の実績 : 個別配点×0.00	定量評価項目	0.4			
		8	・維持管理業務に関する業務実績として次の要件を満たしている場合に加点する。 【加点要件】 入札説明書の「維持管理業務を行う者の要件」1)の要件を全て満たす施設の維持管理業務を契約し、連続して3年以上、当該業務を履行した実績数。 ①4件以上の実績 : 個別配点×1.00 ②3件の実績 : 個別配点×0.75 ③2件の実績 : 個別配点×0.50 ④1件の実績 : 個別配点×0.00	定量評価項目	0.4			
応募者の配置技術者実績	3	9	・プラントの設計・建設業務に関して配置する監理技術者（清掃施設工事業に係る監理技術者資格者証及び監理技術者講習修了証を有する者）の実績として次の要件を満たしている場合に加点する。 【加点要件】 入札説明書の「プラント設計・建設業務を行う者の要件」3)の要件を全て満たす施設の建設工事を監理技術者の立場で従事した実績数。 ①1件以上の実績 : 個別配点×1.00 ②実績なし : 個別配点×0.00	定量評価項目	0.4	1.8	4.5%	
		10	・建築物の設計業務に関して配置する管理技術者（設計業務の技術上の管理を行う者で一級建築士の資格を有する者）の実績として次の要件を満たしている場合に加点する。 【加点要件】 入札説明書の「建築物の設計業務を行う者の要件」3)の要件を全て満たす施設の建築物の設計業務に管理技術者又は同等の立場で従事した実績数。 ①1件以上の実績 : 個別配点×1.00 ②実績なし : 個別配点×0.00	定量評価項目	0.6			
		11	・建築物の建設業務に関して配置する監理技術者（建築工事業に係る監理技術者資格者証及び監理技術者講習修了証を有する者）の実績として次の要件を満たしている場合に加点する。ただし、設計・建設業務を共同企業体で実施せず、建築工事業に係る監理技術者を配置しない場合においては、清掃工事業に係る監理技術者の実績として次の要件を満たしている場合に加点する。 【加点要件】 入札説明書の「建築物の建設業務を行う者の要件」3)の要件を全て満たす施設の建設工事を監理技術者の立場で従事した実績数。 ①1件以上の実績 : 個別配点×1.00 ②実績なし : 個別配点×0.00	定量評価項目	0.4			
		12	・運営業務に関して配置する現場総括責任者（廃棄物処理施設技術管理者の資格を有する者）の実績として次の要件を満たしている場合に加点する。なお、提案した現場総括責任者は本事業の運営・維持管理業務期間のうち、第1期個別契約期間終了まで配置できることを条件とする。 【加点要件】 入札説明書の「運営業務を行う者の要件」1)の要件を全て満たす施設の運営業務を現場総括責任者又は同等の立場で従事した実績数。 ①1件以上の実績 : 個別配点×1.00 ②実績なし : 個別配点×0.00	定量評価項目	0.4			
地元貢献計画	4	13	・本事業の実施に当たって、設計・建設業務での地元企業の活用に最大限配慮した優れた計画となっているか。 （「市内企業の最大限の活用に向けた考え方」について具体的に記載すること。）	定性評価項目	0.4	4.0	10.0%	
		14	・本事業での建設工事費における市内企業契約額が次の要件を満たしている場合に加点する。（市内企業契約額は建設工事請負契約書のとおりとし、具体的な金額及び割合を示すこと。） 【評価方法】 ①市内企業契約額の割合が35%以上 : 個別配点×1.00 ②市内企業契約額の割合が30%以上35%未満 : 個別配点×0.75 ③市内企業契約額の割合が25%以上30%未満 : 個別配点×0.50 ④市内企業契約額の割合が20%以上25%未満 : 個別配点×0.00	定量評価項目	1.4			
		15	・本事業の実施に当たって、運営・維持管理業務での市内人材や市内資材等の活用に最大限配慮した優れた計画となっているか。 （「市内人材の最大限の雇用に向けた考え方」について具体的に記載すること。）	定性評価項目	0.4			
		16	・本事業での運営・維持管理業務委託費（個別契約毎）における市内人材や市内資材等への発注額が次の要件を満たしている場合に加点する。（市内人材や市内資材等への発注額について運営・維持管理業務委託費（個別契約毎）に占める金額及び割合を具体的に記載すること。なお、市内人材や市内資材等への発注額は個別契約毎で全て満足していることを条件とし、1期でも満足しない場合は評価の対象としない。） 【評価方法】 ①市内人材等への発注額の割合が30%以上 : 個別配点×1.00 ②市内人材等への発注額の割合が20%以上30%未満 : 個別配点×0.75 ③市内人材等への発注額の割合が10%以上20%未満 : 個別配点×0.50 ④市内人材等への発注額の割合が10%未満 : 個別配点×0.00	定量評価項目	1.8			

【設計・建設業務に関する項目】

評価項目			評価の視点	評価方法	個別配点 (40点)		個別配点割合		
大項目	中項目	小項目							
施工計画		17	・限られた工期での建設工事を完了させるための工程管理方法（設計、施工、届出等）は優れた計画となっているか。 （「工程計画」「施工計画」「工程管理方法」について「工事工程表」「施工計画図（施工ステップ図）」等を用いて具体的に記載すること。）	定性評価項目	0.4	1.0	2.5%		
		18	・工場棟の引渡し後、ペットボトル圧縮施設の解体工事期間中における直接搬入車両が台数制限を行わず直接搬入車両受入棟において受入が可能となる日数について次の要件を満たしている場合に加点する。 （令和8年9月30日を基準とし、直接搬入車両が台数制限を行わず直接搬入車両受入棟において受入が可能となる日までの「短縮日数（平日、土日祝日も踏まえた延日数）」を対象とする。「期間の短縮方法」「具体的な短縮期間」について「工事工程表」「施工計画書」等を用いて具体的に記載すること。） 【加点要件】 ①短縮日数が70日以上 ; 個別配点×1.00 ②短縮期間が60日以上70日未満 ; 個別配点×0.75 ③短縮日数が50日以上60日未満 ; 個別配点×0.50 ④短縮日数が50日未満 ; 個別配点×0.00	定量評価項目	0.6				
安全対策		19	・工事期間中におけるペットボトル圧縮施設や焼却施設の円滑な運営と既存施設の稼働に対する安全対策は優れた計画となっているか。 （「本施設工事中の安全対策（ペットボトル圧縮施設や焼却施設の収集車両への安全対策等）」「ペットボトル圧縮施設解体工事中の安全対策（本施設への搬出入車両の安全対策等）」について「工事期間中の車両動線計画図」「保安設備等の配置計画図」等を用いて具体的に記載すること。）	定性評価項目	0.6	3.0	7.5%		
		20	・本施設での火災防止、爆発防止に向けた優れた計画となっているか。 （「低速回転式破砕機での火災防止、爆発防止対策（低速回転式破砕機でスプレー缶を確実に穴あけできる爆発防止に向けた破砕刃枚数、破砕刃ピッチの考え方等）」「リチウムイオン電池等の火災防止対策（リチウムイオン電池等の火災防止対策としてのパンカやコンベヤ等への検知器や消火設備の配置計画等）」「その他」について「機械設備構造図（低速回転式破砕機）」「検知器や消火設備の機器配置図」等を用いて具体的に記載すること。）	定性評価項目	1.2				
		21	・地震、津波及び風水害等の災害時における本施設の被害の最小化に向けて設計面から適切な計画となっているか。 （「非常用発電設備の考え方（消火時の対象負荷を踏まえた非常用発電設備の容量の考え方等）」「耐震構造の考え方（災害の被害を最小限とする基礎構造、躯体構造の考え方等）」「その他本施設の被害の最小化に向けた考え方」について「非常用発電設備の設計計算書」「建築計画概要」等を用いて具体的に記載すること。）	定性評価項目	1.2				
環境保全計画		22	・本施設の建設工事及び既存施設等の解体撤去工事の実施にあたっての周辺施設、施設利用者、近隣施設に配慮した優れた計画となっているか。 （「騒音発生対策」「騒音に伴う近隣対策」「環境負荷軽減対策」「工事時の環境調査（地盤変位、近隣家屋調査等）」について「工事時の環境モニタリング計画」等を用いて具体的に記載すること。）	定性評価項目	0.4	1.0	2.5%		
		23	・搬入物の荷下し時における騒音発生等の防止に向けた計画は優れた計画となっているか。 （「びんの荷下し時における騒音低減策」「場外への騒音・振動の伝播防止対策」について具体的に記載すること。）	定性評価項目	0.6				
プラント設備計画	資源化及び最終処分計画	24	・可燃残渣や不燃残渣について要求水準書の処理条件（選別基準）を確実に満たすための適切な計画であり、安価で効果的な提案となっているか。（「焼却施設の受入基準を満たすための工夫（費用対効果含む）」「フェニックスの受入基準を満たすための工夫（費用対効果含む）」について具体的に記載すること。）	定性評価項目	0.2	15.2	38.0%		
		25	・本市の資源物の純度の向上に向けた適切な計画であり、安価で効果的な提案となっているか。（「純度向上に向けた工夫（費用対効果含む）」について具体的に記載すること。）	定性評価項目	0.6				
	26	・次の方法に基づき算出されたステール缶、アルミ缶、ペットボトル、びん、鉄くず、アルミくずの回収率の合計値が最大限確保できる適切な計画であり、安価で効果的な提案となっているか。 （回収率について要求水準書の処理条件（選別基準）を基準とし、事業者の提案数値を各品目に「算出式に基づく設計数値一覧表」「処理フロー図（選別方法がわかるもの）」等を用いて具体的に記載すること。ただし、純度を要求水準書の処理条件（選別基準）を満たしていることを条件とする。） 【算出式】 算出式①：ステール缶の回収率の差＝ステール缶の回収率の業者提案値-要求水準書の処理条件（選別基準）で定めた回収率（参考値）※ステール缶以外はステール缶を他の品目に置き換えて算出するものとする。 算出式②：回収率の差の合計値＝ステール缶の回収率の差+アルミ缶の回収率の差+ペットボトルの回収率の差+びんの回収率の差+鉄くずの回収率の差+アルミくずの回収率の差 【加点要件】 ①回収率の差の合計値が20%以上 ; 個別配点×1.00 ②回収率の差の合計値が15%以上20%未満 ; 個別配点×0.75 ③回収率の差の合計値が10%以上15%未満 ; 個別配点×0.50 ④回収率の差の合計値が10%未満 ; 個別配点×0.00	定量評価項目	0.6					
	27	・次の方法に基づき算出された太陽光発電の発電量（kWh/日（年間平均値））が最大限確保できる優れた計画となっているか。 「太陽光発電設備の配置計画図」「太陽光発電出力計算書（日射量、定格出力等）」等を用いて具体的な算出根拠を記載すること。太陽光発電の発電量は施設の供用開始日時から1年間の日平均値として記載すること。 【算出式】 発電量 [kWh/日（年間平均値）] = (年平均日射量 [kWh/m ² /日] × 定格出力 [kW] × 損失係数 ÷ 日射強度 (1.0)) [kWh/m ²] 【評価方法】 配点 × 当該提案数値 ÷ 最も高い提案数値	定量評価項目	0.4	0.8				2.0%
	28	・本施設で消費する電力を削減できる優れた計画となっているか。 （「省エネルギーの考え方」「電力のデマンド管理」「その他」について具体的に記載すること。）	定性評価項目	0.4					
29	・ごみ量の変動に対して柔軟に対応が可能となるスペース等が確保され、施設の安定的な稼働が図られる優れた計画となっているか。 （「施設稼働日数や時間の考え方」「品目別の受入保管容量」「品目別の貯留保管容量」について「設計計算書（根拠を記載）」「施設配置計画図」等を用いて具体的に記載すること。）	定性評価項目	0.6	1.0	2.5%				
30	・機械設備の運転について効率化が図られた優れた計画となっているか。 （「プラント設備の操作・監視・制御の集中化の考え方」「プラント設備の操作・監視・制御の自動化の考え方」について「システム構成図」等を用いて具体的に記載すること。）	定性評価項目	0.4						
啓発設備計画		31	・ごみ減量・再資源化について幅広い世代が体験を通じて学習できる優れた計画となっているか。 （「環境学習拠点となる環境学習設備（実際に体験できる設備や実際に近い体験ができる設備）」「陳腐化しない工夫」「施設外からの環境学習の工夫（ホームページ等を通して本施設に来なくても学習できる工夫）」「その他」について「啓発設備一覧表」「啓発施設の配置計画図」等を用いて具体的に記載すること。）	定性評価項目	0.4	0.4	1.0%		
機器計画		32	・各機械設備の選定に当たり、運営面で強風等、自然環境を考慮した構造及び季節変動等に対し柔軟な対応が可能な構造（処理量の変動、パンカ貯留物の搬出車両の変更（車両の小型化）等）であり、維持管理面で塩害や強風等、自然環境を考慮した構造及び効率化や維持管理費の低減が図られる優れた計画となっているか。 （「機械設備の選定に当たっての考え方（運営面）」「機械設備の選定に当たっての考え方（維持管理面）」「各設備の20年間の補修計画と費用」「選定する設備の類似施設での採用実績」等について「機械設備一覧表」等を用いて具体的に記載すること。）	定性評価項目	0.8	1.8	4.5%		
		33	・延命化工事を含め各機器メンテナンスが行いやすい優れた計画となっているか。 （「機器配置、機器搬出入動線の考え方」「主要な機器のメンテナンス方法の考え方（メンテナンススペース、メンテナンス通路等）」について「機器配置計画図（メンテナンス通路を着色）」「機器搬出入動線計画図」等を用いて具体的に記載すること。）	定性評価項目	0.4				
		34	・各機械設備の選定に当たり、採用する機械設備について維持管理面について優れた計画となっているか。 （「主要な設備に関する国内供給体制（在庫の有無）の考え方」「特殊製品の採用の有無」について「主要な機械設備一覧表」「機械設備毎の供給体制表」等を用いて具体的に記載すること。）	定性評価項目	0.6				

【設計・建設業務に関する項目（つづき）】

評価項目			評価の視点	評価方法	個別配点（40点）		個別配点割合		
大項目	中項目	小項目							
建築計画	施設配置・動線計画	13	35	・敷地内、工場棟内及び直接搬入車両受入棟内の施設配置・車両動線はわかりやすく、安全性や作業性に配慮した優れた計画となっているか。 （「車両動線計画の安全性及び作業性の確保」「サイン計画」「繁忙期における車両動線」について“場外車両動線計画図（各車両動線を記載すること。）”“場内車両動線計画図（各車両動線を記載すること。）”“サイン計画図”等を用いて具体的に記載すること。）	定性評価項目	0.8			
			36	・プラットフォームにおけるゴミピット投入前の収集車両の待機スペース（ゴミピット投入扉への搬出入に支障のない範囲で縦列駐車できる長さ）について次の要件を満たしている場合に加点する。 （“場内車両動線計画図（待機スペース、待機車両台数を記載すること。）”等を用いて具体的に記載すること。） 【加点要件】 ①待機スペースが収集車両7台分以上確保できる。 ; 個別配点×1.00 ②待機スペースが収集車両6台分確保できる。 ; 個別配点×0.75 ③待機スペースが収集車両5台分確保できる。 ; 個別配点×0.50 ④待機スペースが収集車両4台分確保できる。 ; 個別配点×0.00	定量評価項目	0.6			
			37	・本敷地内における車両が交差する地点（車両の交差する地点とは、直進する車両の道路を横切って通過する箇所であり、道路に分流・合流する箇所は除外する。）が次の要件を満たしている場合に加点する。 （“車両動線計画図（交差点を記載すること。）”等を用いて具体的に記載すること。） 【加点要件】 ①交差点なし ; 個別配点×1.00 ②1地点 ; 個別配点×0.50 ③2地点以上 ; 個別配点×0.00	定量評価項目	0.4	2.2		5.5%
			38	・本敷地内における繁忙期での直接搬入車両の車両滞留長（搬入側：焼却施設出入口から焼却側計量棟の車両停車位置までの長さ、搬出側：直接搬入車両受入棟出入口から焼却施設計量棟の車両停車位置までの長さ）が次の要件を満たしている場合に加点する。（“車両動線計画図（繁忙期の車両滞留長を記載すること。）”等を用いて具体的に記載すること。） 【加点要件】 ①搬入側、搬出側ともに250m以上 ; 個別配点×1.00 ②搬入側が250m以上 ; 個別配点×0.75 ③搬出側が250m以上 ; 個別配点×0.50 ④搬入側、搬出側ともに250m未満 ; 個別配点×0.00	定量評価項目	0.4		15.2	38.0%
	見学者動線等計画	14	39	・本市が想定する見学者（150 クラス/年程度）に対して見学のしやすい工夫や啓発施設への来場者が本施設を自由に見学できる優れた計画となっているか。 （「見学ホールの配置計画」「啓発施設利用者の自由に見学できる工夫」「見学者の安全に関する工夫（間違えによる作業エリアへの進入防止等）」「福祉のまちづくりアドバイザーの活用方法」について“見学者動線計画図（運転人員動線、見学者動線を記載すること。）”等を用いて具体的に記載すること。）	定性評価項目	0.4			
			40	・見学者動線計画について、見学者対象物（プラットフォーム、各ゴミピット、搬出物貯留ヤード、各手選別ライン、中央制御室、破砕機の6箇所）に対して次の要件を満たしている場合に加点する。 （“見学者動線計画図（見学者対象物を記載すること。）”等を用いて具体的に記載すること。） 【加点要件】 ①1フロアで見学者対象物が6箇所中5箇所以上の見学が可能である ; 個別配点×1.00 ②1フロアで見学者対象物が6箇所中4箇所の見学が可能である ; 個別配点×0.75 ③1フロアで見学者対象物が6箇所中3箇所の見学が可能である ; 個別配点×0.50 ④1フロアで見学者対象物が6箇所中2箇所の見学が可能である ; 個別配点×0.00	定量評価項目	0.4	1.0	2.5%	
			41	・本市が想定する見学者対象物に加え次の見学者対象物が見学できる場合（ITVによる見学も可能）に加点する。 （“見学者動線計画図（見学者対象物を記載すること。）”“ITV配置計画図”等を用いて具体的に記載すること。） 【加点要件】 ①圧縮形成機、磁選機、アルミ選別機、破砕袋機、適正処理物処理ヤード ; 個別配点×1.00 ②圧縮形成機、磁選機、アルミ選別機、破砕袋機 ; 個別配点×0.75 ③圧縮形成機 ; 個別配点×0.50 ④見学不可 ; 個別配点×0.00	定量評価項目	0.2			
	景観計画	15	42	・デザインのコンセプトが明確であり、独自性・機能が優れた計画となっているか。 （西宮市都市景観条例等を考慮した「外観デザインの考え方」「周辺環境に配慮事項」について“立面図”“鳥観図”等を用いて具体的に記載すること。）	定性評価項目	0.4	0.4	1.0%	
	その他独自提案	16	43	・小項目No17～42以外で事業者が本事業の実施に当たり、設計・建設業務に関する内容について本市に有益となる独自の提案がなされているか。 （評価項目以外に事業者が特に力を入れて取り組む提案事項について具体的に記載すること。）	定性評価項目	1.2	1.2	3.0%	

【運営・維持管理業務に関する項目】

評価項目			評価の視点	評価方法	個別配点 (40点)			個別配点割合			
大項目	中項目	小項目			得点	割合	得点	割合	得点	割合	
全体計画	運営・維持管理体制	17	44	・本施設の運営・維持管理業務を行う上での作業員の意識の向上が図られる優れた計画となっているか。 (「本施設での運転管理に関する教育の内容(分別判断、指導、運転管理、非常時対応等)」「本施設での維持管理に関する教育の内容」「教育の実施頻度」「その他業務意識の高揚を図るための工夫」について“運転教育計画書”等を用いて具体的に記載すること。)	定性評価項目	0.8			5.0%		
			45	・受入管理、適正処理、適正運転に向けた適切な実施体制が優れた計画となっているか。 (「人員配置(誘導員、手選別人員、運転人員等)計画」「人数(兼任含む)の考え方」「人数が不足した時の対応(搬入量の増加や欠員等)」についての工夫を“運転人員体制表(人員数、具体的な作業内容、兼務の有無を記載すること。)”“処理フロー(人員配置を記載したもの)”等を用いて具体的に記載すること。)	定性評価項目	1.0	2.0				
			46	・本市(東部総合処理センター焼却施設側計量棟作業員、焼却施設の運営・維持管理事業者等)との連携が図られる優れた計画となっているか。 (「本市(東部総合処理センター焼却施設側計量棟作業員)との連携体制と連携内容」「本市(焼却施設の運営・維持管理事業者)との連携体制と連携内容」「その他」について具体的に記載すること。)	定性評価項目	0.2					
	セルフモニタリング計画	18	47	・セルフモニタリングにおける純度、回収率の測定方法が優れた計画となっているか。 (「純度及び回収率のモニタリング方法の考え方(サンプリング地点、測定方法)」「測定時の運転計画」について“セルフモニタリング計画書”等を用いて処理ライン毎に具体的に記載すること。)	定性評価項目	0.6			2.5%		
			48	・セルフモニタリングにおけるスチール缶、アルミ缶、びん、鉄くず、ペットボトルの純度、回収率(ペットボトルは回収率のみ)の報告頻度が次の要件を満たしている場合に加点する。 (「セルフモニタリング計画書」等を用いて具体的に記載すること。ただし、回収率、純度に関するセルフモニタリングの報告頻度は対象物全て要件を満たしていることを条件とする。) 【加点要件】 ①年3回以上 ; 個別配点×1.00 ②年2回 ; 個別配点×0.00	定量評価項目	0.4	1.0				
	安全対策	19	49	・本施設において火災、爆発が発生した場合の対処方法について運営・維持管理面から優れた計画となっているか。(「作業員や見学者等に対する対処方法」「消火活動の方法」「火災、爆発発生時の緊急連絡体制」について“事業計画計画書”等を用いて具体的に記載すること。)	定性評価項目	1.0		1.4	3.5%		
			50	・事故防止に関する車両誘導等の工夫について優れた計画となっているか。 (「誘導員配置計画(平常時、繁忙期)」「誘導方法の考え方」について具体的に記載すること。)	定性評価項目	0.4					
	資金計画	20	51	・事業初期の資金、20年間にわたる事業の安定継続の確保に向けた優れた計画となっているか。(「SPCの資本金の考え方」「SPC経営悪化時の対応策」「運転資金不足顕在化時の対応策」「市への報告(財務状況)の方法」について“SPCの出資構成”“SPCの財務計画書”“市への報告計画書”等を用いて具体的に記載すること。)	定性評価項目	0.4	0.4		1.0%		
	運営計画	受入管理計画	21	52	・不適物の混入防止に向けた受入管理体制は優れた計画となっているか。 (「展開検査の実施方法」「搬入者への指導方法(荷卸し時に不適物が確認された場合等)」「繁忙期での受入管理方法」について具体的に記載すること。)	定性評価項目	0.6	0.6		1.5%	
		運転管理計画	22	53	・前選別作業(粗大ごみ)や各処理ラインでの手選別作業の円滑な実施に向けた優れた計画となっているか。 (「前選別(粗大ごみ)作業の円滑な実施に向けた考え方」「各処理ラインにおける手選別時の不適物除去(リチウムイオン電池を除く)の工夫」「各処理ラインにおける手選別時のリチウムイオン電池除去の工夫」「その他」について具体的に記載すること。)	定性評価項目	1.2			6.0%	
54				・ごみ量の変動等を考慮した柔軟な運転が行えるような優れた計画となっているか。 (「ごみ量の変動時における運転計画の工夫(ごみ量が多い時及び少ない時の対応方法を記載)」について具体的に記載すること。)	定性評価項目	0.6	2.4				
55				・機器の故障等により処理が停止した際に廃棄物の搬入停止になりにくい優れた計画となっているか。 (「機器の故障等による処理停止を想定した日常の運転計画の工夫」「機器が故障した際の早期復旧に向けた工夫」について“ヤードやピットの運転計画表(貯留容量のシミュレーション結果)”“一次保管スペースの配置計画図”等を用いて具体的に記載すること。)	定性評価項目	0.6					
環境管理計画		23	56	・本施設の運転・維持管理の実施にあたっての悪臭、騒音について周辺施設、施設利用者、近隣施設に配慮した優れた計画となっているか。 (運転・維持管理中の「環境保全計画」「作業環境保全計画」について“環境保全計画書”“作業環境保全計画書”等を用いて具体的に記載すること。)	定性評価項目	0.4	0.4	15.4	1.0%	38.5%	
啓発施設運営計画		24	57	・啓発施設のPRや啓発施設の運営内容が優れた計画となっているか。 (「本施設のPRを効果的に実施するための方法」「啓発施設の運転日数、時間の考え方」「ホームページの内容」について具体的に記載すること。)	定性評価項目	0.4			3.0%		
			58	・市が行っているイベント以外で事業者のノウハウを踏まえた独自イベントの実施件数が次の要件を満たす場合に加点する。 (「事業者の独自イベントの内容」「イベントに伴う費用」を具体的に記載すること(要求水準書貸与資料32-1に記載するイベントと酷似しているものは除く)。イベントの内容は環境啓発に関する安価でリサイクルの啓発に繋がるものを対象とする。) 【加点要件】 ①6件 ; 個別配点×1.00 ②5件 ; 個別配点×0.75 ③4件 ; 個別配点×0.50 ④3件以下 ; 個別配点×0.00	定量評価項目	0.4	1.2				
			59	・イベントの開催頻度が次の要件を満たす場合に加点する。 (イベントの開催頻度は年間回数とし、1日に複数のイベントを開催した場合もイベントの内容が異なる場合はそれぞれ1回として計上するものとし、「開催頻度」「イベントに伴う費用」を具体的に記載すること。イベントの内容は環境啓発に関する安価でリサイクルの啓発に繋がるものを対象とする。) 【加点要件】 ①14回/年以上 ; 個別配点×1.00 ②13回/年 ; 個別配点×0.75 ③12回/年 ; 個別配点×0.50 ④11回/年 ; 個別配点×0.00	定量評価項目	0.4					
見学者対応計画		25	60	・見学者(150クラス/年程度)への対応が行える優れた計画となっているか。 (「見学者対応計画(同時に5クラスが見学が可能となる計画を記載)」「わかりやすい説明方法への工夫」について具体的に記載すること。)	定性評価項目	0.4	0.4		1.0%		
維持管理計画		26	61	・運営期間中の維持管理費低減が優れた計画となっているか。 (「機能検査、点検補修、施設保全の頻度」「先進技術を活用した効率化(ICT技術等)」「運営期間中の維持管理費」「費用の平準化」について“維持管理計画(点検補修する機器の種類等を記載すること。)”“維持管理費内訳書”等を用いて具体的に記載すること。)	定性評価項目	1.2			9.0%		
	62		・運営期間中の大規模補修費低減の内容が優れた計画となっているか。 (「大規模補修の実施内容(各年度に大規模補修を行う機器の内容等)」「運営期間中の大規模補修費」「費用の平準化」について“大規模補修計画(大規模補修する機器の種類等を記載すること。)”“大規模補修費内訳書”等を用いて具体的に記載すること。)	定性評価項目	1.2	3.6					
	63		・運営・維持管理業務期間(20年間)終了後、10年間施設を使用するに当たり、ライフサイクルコスト削減に配慮した優れた計画となっているか。 (「施設の保全や延命化の工夫」「運営期間終了後の補修・更新費等を最小化に向けた考え方」について具体的に記載すること。)	定性評価項目	1.2						
情報管理計画	27	64	・運営・維持管理業務で得られたデータを今後の運営・維持管理業務に反映するための解析方法や活用方法は優れた計画となっているか。 (「管理データの種類」「管理データの解析方法」「解析したデータの活用方法」を具体的に記載すること。)	定性評価項目	0.4	0.4		1.0%			
		65	・点検補修、施設保全、大規模補修、改良補修、モニタリング結果、運用データ、業務実施計画書等のデータの管理方法について次の要件を満たしている場合に加点する。 (「統合管理・出力の対象データ」「統合管理・出力・バックアップの方法」について具体的に記載すること。) 【加点要件】 ①全て電子化して統合管理・出力・バックアップが可能 ; 個別配点×1.00 ②全て電子化して統合管理・出力・バックアップができない ; 個別配点×0.00	定量評価項目	0.4	0.4		1.0%			
その他独自提案	28	66	・小項目No44～65以外で事業者が本事業の実施に当たり、運営・維持管理業務に関する内容について本市に有益となる独自の提案がなされているか。 (評価項目以外に事業者が特に力を入れて取り組む提案事項について具体的に記載すること。)	定性評価項目	1.2	1.2		3.0%			
合計						40.0	40.0	40.0	100%	100%	

	得点	割合
定量評価項目	11.8	30%
定性評価項目	28.2	70%
合計	40.0	100%